

19. 地域の生活環境について（問50(1)～(13)）

ここでは、「十分に満足」「まあ満足」「どちらとも言えない」「やや不満」「非常に不満」の回答者数に、各々+2点、+1点、0点、-1点、-2点を掛け合わせ、その合計を回答者数で割ったもの（平均点）を「満足度評価」として分析し、平成26年度調査以降9年間と今年度実施による結果の比較を行った。

※平均点による満足度の評価（凡例）



なお、前回結果との比較では、令和4年度に実施していない調査項目があるため、未実施の調査項目については、実施年度の結果と比較した。

前回調査との平均点の比較

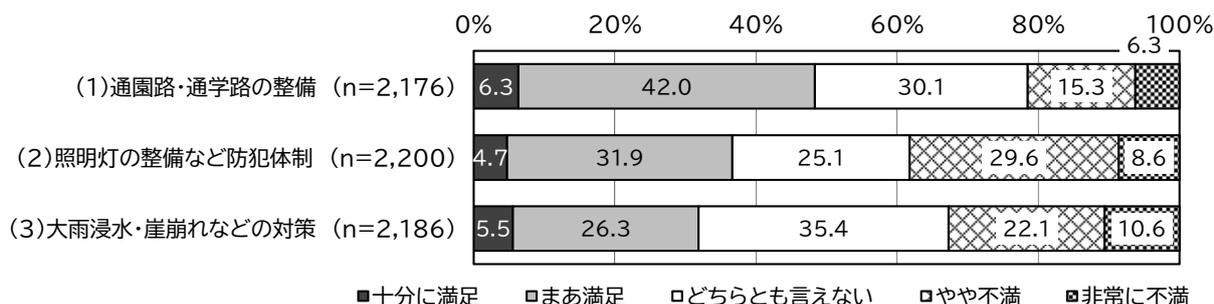
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	前回との差
安全性	1 通園路・通学路の整備	0.18	0.11	0.35	0.27	▲ 0.08
	2 照明灯の整備など防犯体制	-0.04			-0.06	▲ 0.02
	3 大雨浸水・崖崩れなどの対策				-0.06	-
利便性	4 学校施設のスポーツ開放など	0.26	0.32	0.30	0.27	▲ 0.03
	5 スポーツ・レクリエーション施設	0.21	0.27	0.27	0.22	▲ 0.05
	6 公共交通の利用のしやすさ	0.04	0.02	0.05	-0.01	▲ 0.06
	7 自転車の利用のしやすさ	0.08	0.09	0.14	0.00	▲ 0.14
快適性	8 環境美化衛生	0.35	0.38	0.37	0.28	▲ 0.09
	9 環境対策	0.16	0.21	0.21	0.12	▲ 0.09
	10 生活道路の整備	0.05	0.06		-0.05	▲ 0.11
	11 自然環境の豊かさ	0.69	0.69	0.67	0.63	▲ 0.04
	12 景観整備	0.26	0.24	0.31	0.23	▲ 0.08
	13 下水道の整備	0.48	0.46	0.37	0.31	▲ 0.06

注記： は、実施していない調査項目

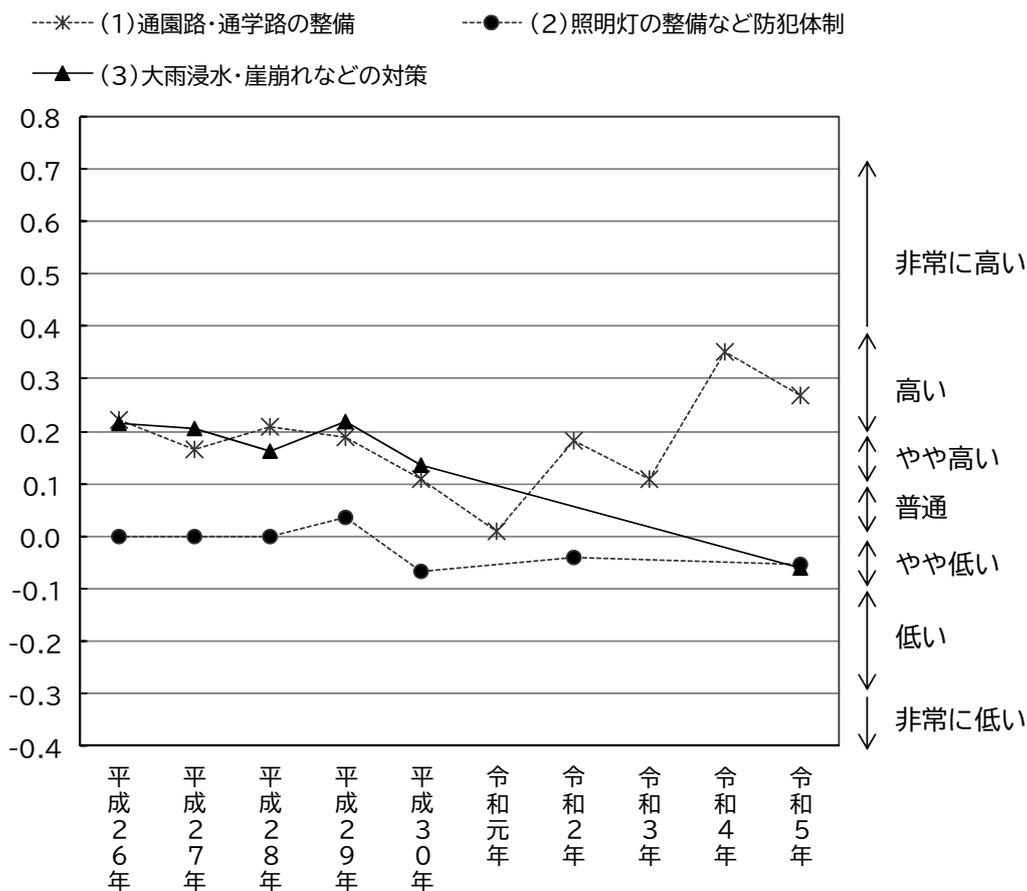
問50 お住まいの地区（小学校区）について、満足していますか。
（安全性：問50（1）～（3））

地域の生活環境の安全性について、「十分に満足」、「まあ満足」と回答した人を合わせた割合は、「通園路・通学路の整備」が48.3%と最も高く、次いで「照明灯の整備など防犯体制」が36.6%、「大雨浸水・崖崩れなどの対策」が31.8%となっている。

一方、「やや不満」、「非常に不満」と回答した人を合わせた割合は、「照明灯の整備など防犯体制」が38.2%と最も高く、次いで「大雨浸水・崖崩れなどの対策」が32.7%、「通園路・通学路の整備」が21.6%となっている。



平成26年度以降10年間の満足度評価の比較（安全性）



注記：「(2)照明灯の整備など防犯体制」は、令和元年・3年・4年度調査で未実施

注記：「(3)大雨浸水・崖崩れなどの対策」は、令和元年・2年・3年・4年度調査で未実施

地域の生活環境についての満足度（安全性）

			満足(%)	不満(%)	平均点	順位	評価
安 全 性	1	通園路・通学路の整備	48.3	21.6	0.27	1	高い
	2	照明灯の整備など防犯体制	36.6	38.2	-0.06	2	やや低い
	3	大雨浸水・崖崩れなどの対策	31.8	32.7	-0.06	2	やや低い

（1）通園路・通学路の整備

全体の48.3%が『満足』、21.6%が『不満』と回答している。平均点は0.27で、満足度は安全性の3項目の中で最も高い。

評価は前回調査と同様に「高い」となった。

（2）照明灯の整備など防犯体制

全体の36.6%が『満足』、38.2%が『不満』と回答している。平均点は-0.06で、満足度は安全性の3項目の中で2位となっている。

評価は前回調査と同様に「やや低い」となった。

（3）大雨浸水・崖崩れなどの対策

全体の31.8%が『満足』、32.7%が『不満』と回答している。平均点は-0.06で、満足度は安全性の3項目の中で最も低い。

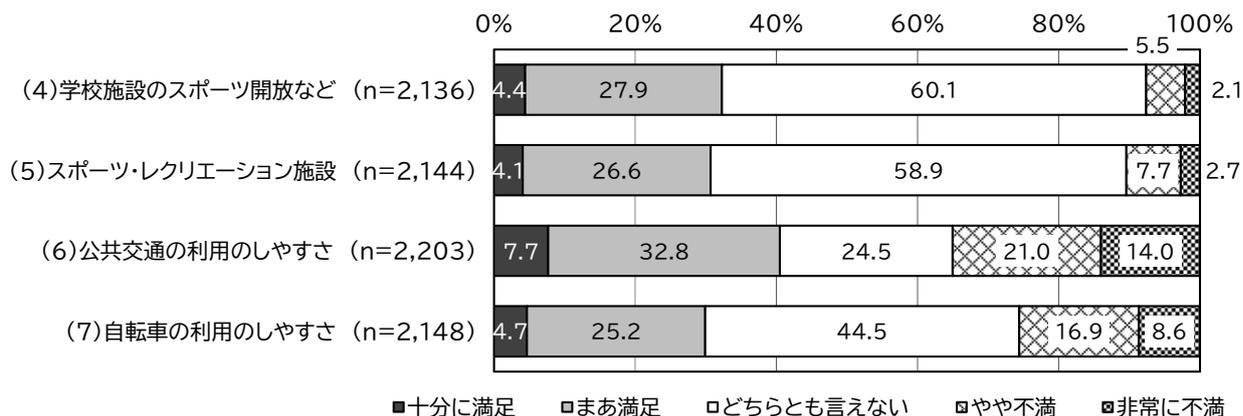
評価は前回調査から低下し「やや低い」となった。

注記：「(2) 照明灯の整備など防犯体制」、「(3) 大雨浸水・崖崩れなどの対策」の順位は、平均点の小数点以下3位の数値を比較した。

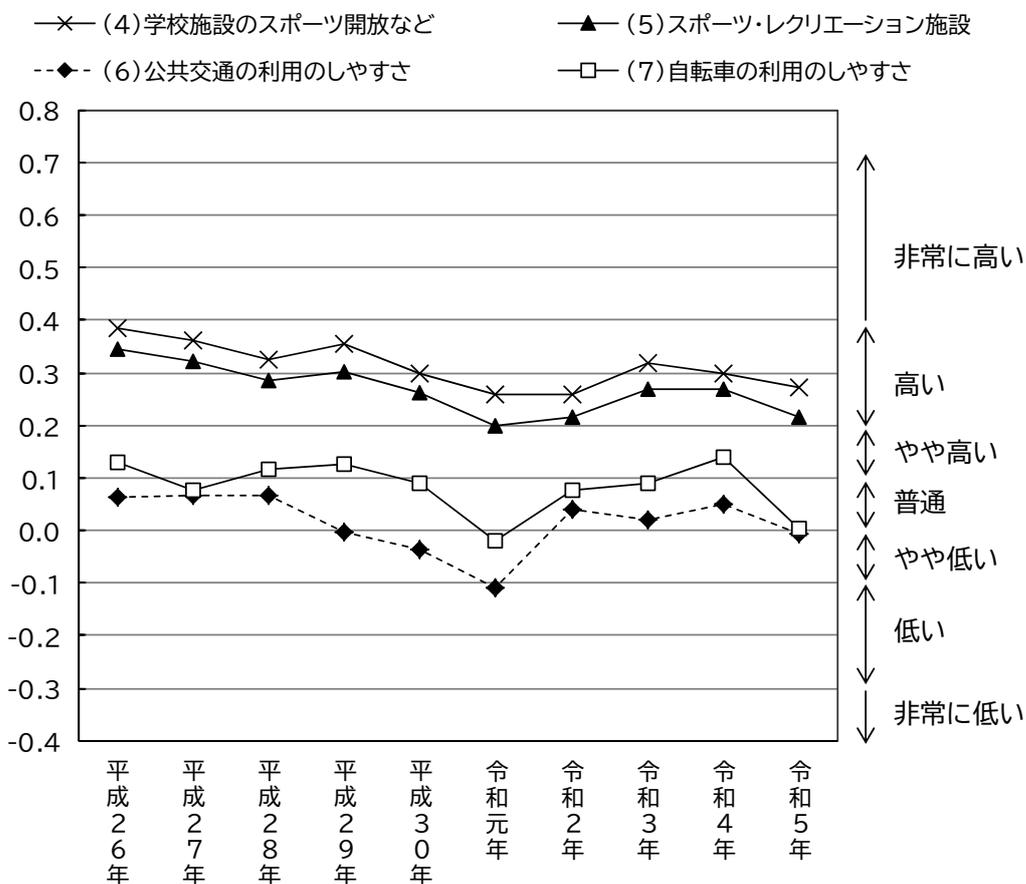
問50 お住まいの地区（小学校区）について、満足していますか。
（利便性：問50(4)～(7)）

地域の生活環境の利便性について、「十分に満足」、「まあ満足」と回答した人を合わせた割合は、「公共交通の利用のしやすさ」が40.5%と最も高く、次いで「学校施設のスポーツ開放など」(32.3%)、「スポーツ・レクリエーション施設」(30.7%)と続いている。

一方、「やや不満」、「非常に不満」と回答した人を合わせた割合は、「公共交通の利用のしやすさ」が35.0%と最も高くなっている。



平成26年度以降10年間の満足度評価の比較（利便性）



地域の生活環境についての満足度（利便性）

		満足(%)	不満(%)	平均点	順位	評価	
利便性	4	学校施設のスポーツ開放など	32.3	7.6	0.27	1	高い
	5	スポーツ・レクリエーション施設	30.7	10.4	0.22	2	高い
	6	公共交通の利用のしやすさ	40.5	35.0	-0.01	4	やや低い
	7	自転車の利用のしやすさ	29.9	25.5	0.00	3	普通

（４）学校施設のスポーツ開放など

全体の 32.3%が『満足』、7.6%が『不満』と回答している。平均点は 0.27 で、満足度は利便性の 4 項目の中で最も高い。

評価は前回調査と同様に「高い」となった。

（５）地区体育館などスポーツ・レクリエーション施設

全体の 30.7%が『満足』、10.4%が『不満』と回答している。平均点は 0.22 で、満足度は利便性の 4 項目の中で 2 位となっている。

評価は前回調査と同様に「高い」となった。

（６）公共交通の利用のしやすさ

全体の 40.5%が『満足』、35.0%が『不満』と回答している。平均点は-0.01 で、満足度は利便性の 4 項目の中で最も低い。

評価は前回調査から低下し「やや低い」となった。

（７）自転車の利用のしやすさ

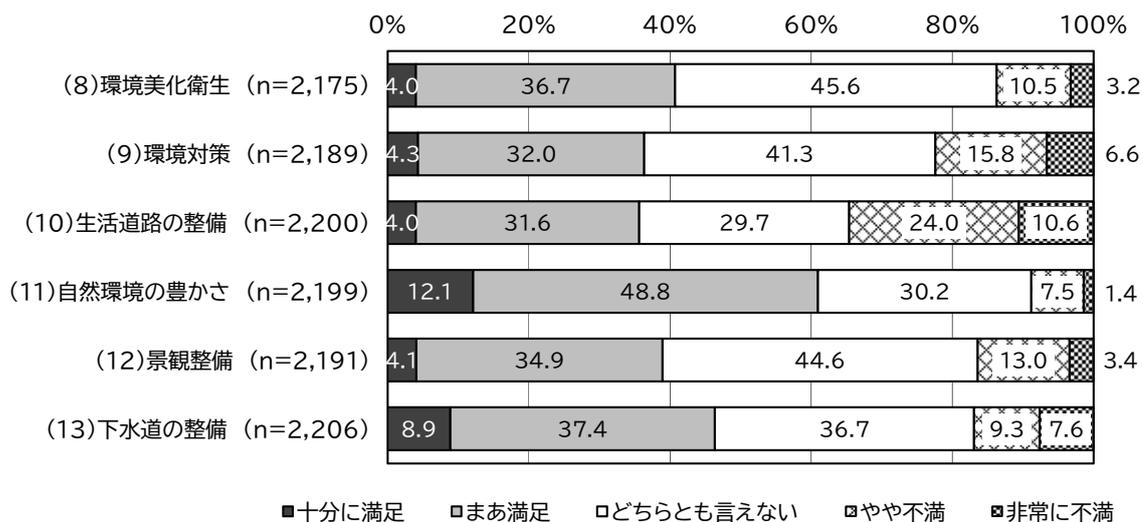
全体の 29.9%が『満足』、25.5%が『不満』と回答している。平均点は 0.00 で、満足度は利便性の 4 項目の内 3 位となっている。

評価は前回調査から低下し「普通」となった。

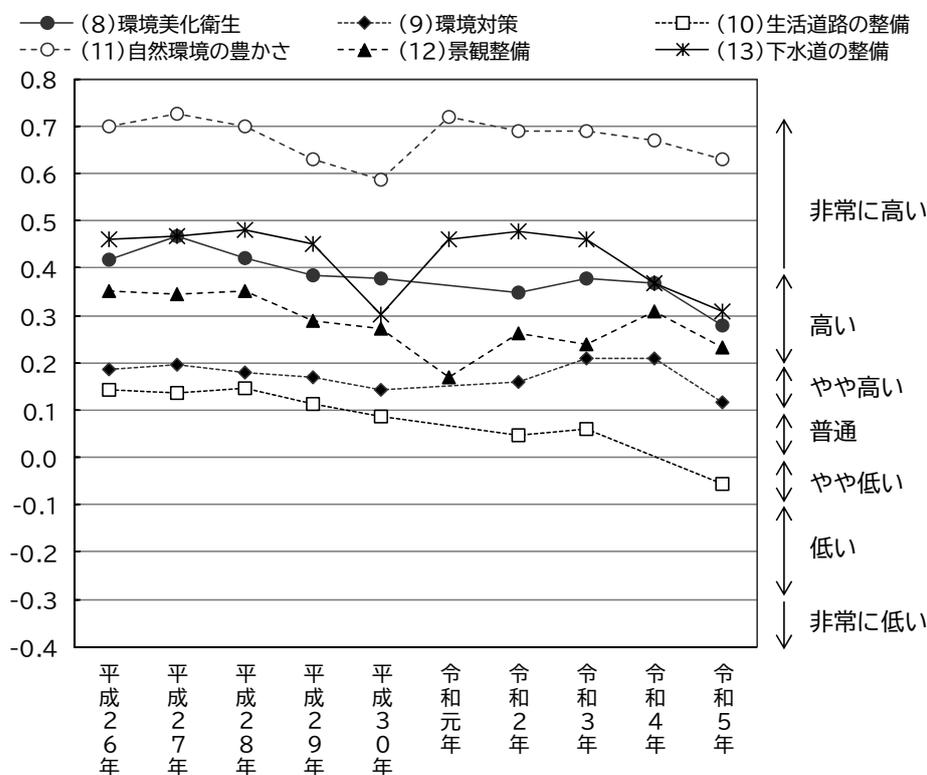
問50 お住まいの地区（小学校区）について、満足していますか。
 （快適性：問50（8）～（13））

地域の生活環境の快適性について、「十分に満足」、「まあ満足」と回答した人を合わせた割合は、「自然環境の豊かさ」が60.9%と最も高く、次いで「下水道の整備」（46.3%）、「環境美化衛生」（40.7%）と続いている。

一方、「やや不満」、「非常に不満」と回答した人を合わせた割合は、「生活道路の整備」が34.6%と最も高くなっている。



平成26年度以降10年間の満足度評価の比較（快適性）



注記：「(8)環境美化衛生」、「(9)環境対策」は令和元年度で未実施

注記：「(10)生活道路の整備は、令和元年・4年度調査で未実施

地域の生活環境についての満足度（快適性）

		満足(%)	不満(%)	平均点	順位	評価
快適性	8 環境美化衛生	40.7	13.7	0.28	3	高い
	9 環境対策	36.3	22.4	0.12	5	やや高い
	10 生活道路の整備	35.6	34.6	-0.05	6	やや低い
	11 自然環境の豊かさ	60.9	8.9	0.63	1	非常に高い
	12 景観整備	39.0	16.4	0.23	4	高い
	13 下水道の整備	46.3	16.9	0.31	2	高い

（８）まちをきれいにする運動など環境美化衛生

全体の40.7%が『満足』、13.7%が『不満』と回答している。平均点は0.28で、満足度は快適性の6項目の中で3位となっている。

評価は前回調査と同様に「高い」となった。

（９）騒音・悪臭・河川の浄化などの環境対策

全体の36.3%が『満足』、22.4%が『不満』と回答している。平均点は0.12で、満足度は快適性の6項目の中で5位となっている。

評価は前回調査より低下し「やや高い」となった。

（１０）道路・側溝など生活道路の整備

全体の35.6%が『満足』、34.6%が『不満』と回答している。平均点は-0.05で、満足度は快適性の6項目の中で最も低い。

評価は前回調査より低下し「やや低い」となった。

（１１）緑、自然環境の豊かさなど

全体の60.9%が『満足』、8.9%が『不満』と回答している。平均点は0.63で、満足度は快適性の6項目の中で最も高い。

評価は前回調査と同様に「非常に高い」となった。

（１２）美しいまちづくりのための景観整備

全体の39.0%が『満足』、16.4%が『不満』と回答している。平均点は0.23で、満足度は快適性の6項目の中で4位となっている。

評価は前回調査と同様に「高い」となった。

（１３）下水道の整備

全体の46.3%が『満足』、16.9%が『不満』と回答している。平均点は0.31で、満足度は快適性の6項目の中で2位となっている。

評価は前回調査と同様に「高い」となった。